



# やす町 議会だより

第60号

(令和2年2月)



まちを元気に!!  
私たちの思い…聞いてください  
高校生議会(八頭高校)

## もくじ

■12月定例会 …………… 2	■高校生議会開催しました …………… 20
■一般質問(13人が質問) ……… 5	■議案等議決結果 …………… 21
■八頭町議会報告会 Talk&cafe開催しました ……… 18	■H31、R1本会議、委員会出欠表 …… 22
	■やす・ドリームリレートーク ……… 24

# アート創造 拠点施設へ

●簡易水道料金表示が外税方式 ●体育施設の経年劣化進む

12月5日から18日まで14日間の会期で令和元年度12月議会定例会を開催。  
上程された12議案と追加議案1件は可決された。  
補正予算では、経年劣化が進む体育施設の補修が複数あった。  
また一般質問は13人が登壇。熱い議論を交わした。

## 契約

◇町道ホウキ線道路災害復旧工事（30年災第331号）

○請負変更契約の締結

工期延長によるもので契約金額の変更はなし。

○工期

平成30年11月30日から令和2年3月31日まで

○契約の相手方

岡島建設・中田組特定建設工事共同企業体  
代表者 岡島建設有限公司

## 財産の貸付

旧安部小学校を活用し、地域住民向けの絵画のワークショップや、山本虎之助氏の絵画の展示、絵画制作等の事業を通して、芸術文化に触れる場を設け、心豊かで活力ある社会形成に寄与するために使用するもの。

○旧安部小学校校舎2階

図書室・教材室・教室1・教室2・多目的ホール

○賃貸借契約

有償（年額96,680円）  
建物部分に対しては貸付料を無償とし、土地部分に対

しての貸付料とする。

○貸付の相手方

一般社団法人 山本虎之助記念館

代表 山本 虎之助

○貸付の期間

令和2年1月1日から令和6年3月31日まで

## 質疑

建物部分の貸付料を免除し土地部分に対して貸付料とあるが、2階部分を貸すのになぜ建物部分は免除なのか。

○答弁 吉田町長

今回、一般社団法人ということで企業誘致には値しないので、土地は有償とし、建物以外の学校利活用のように免除している。

企業誘致と一般社団法人の申し込みの違い。

## 質疑

土地部分を貸すということとは、将来1階や3階を貸して欲しいという人がいた場合、貸すことはできるのか。

有償で貸付ということに

なれば、補助金返還もあるのか。

年額96,000円は安すぎるのではないか。

○答弁 吉田町長

1階と3階は現在のところ貸す気持ちはない。

積算は町の普通財産の貸付料の算定要綱に基づくものだ。

## 質疑

借地借家法に基づいて貸付の方法は検討されたのか。民法で決まっているが、今の考え方で全て対応できるのか。

○答弁 吉田町長

本町の普通財産の貸付料の算定要綱、これに基づいて計算している。

お互いに疑義が生じた場合には、契約の協議条項で対応したい。

○賛成討論 岡嶋 正広

建物部分に相当する土地についての有償という事。今後の別途使用に不安感



▲ アート創造拠点施設として期待される旧安部小学校

否めない。

しかしながら、町内のアート拠点施設として町民の出会い触れ合い参加の場として大いに活用していただきたい。賛成する。

**賛成討論** 小原 徹也

この議案は、総務教育常任委員会では可決だった。

賃貸借契約について疑問は残るが、行政が地域の文化ゾーンをつくり、芸術文化に触れる場を設けることに賛同できる。よって、賛成討論とする。

**条例改正**

◇八頭町営住宅条例の一部改正

連帯保証人の極度額を入居時の家賃の6月分に相当する額とするもの。

◇八頭町国民健康保険条例の一部改正

現行の保険税率を3方式にするにあたり、課税額から資産割を削るもの。

◇八頭町簡易水道事業給水条例の一部改正

料金表示が外税方式になることなど（以下の4つも同様）。

・八頭町公共下水道条例の一部改正

・八頭町農業集落排水施設条例の一部改正

・八頭町小規模集合排水処理施設条例の一部改正

・八頭町合併処理浄化槽施設条例の一部改正

**質疑**

下水道料金の改定の世帯員は、大人も子どもも幼児も全て1人と換算するのか。

一般家庭以外の料金は従量メーターを設置して計量か、水道使用料に比例して料金を設定しているのか。

**答弁** 吉田町長

住民基本台帳に登録があれば1人となる。

従量制は、それぞれの事業所などに量水器がついており、そのメーターの水量ということだ。

**質疑**

下水道も一般家庭以外の料金設定のように、水道水の使用に比例した料金設定にした方が現実的ではないか。

また今後の予定や計画は。

**答弁** 吉田町長

そうなれば井戸などの調査も必要になる。最終的には従量制ということと時間がほしい。遅くとも5年以内と考えている。

**補正予算**

◇令和元年度八頭町一般会計補正予算（第7号）

予算総額に4433万円を追加し、予算の総額を108億5739万円とし可決した。

主なものは民生費、土木費、教育費など。小・中学校のトイレの洋式化設計業務委託料や、体育施設の経年劣化のため、補修を要する予算などが追加。安全に使用できるよう点検も必要という意見もあつた。

**【主な支出】**

- 生活保護扶助費 2005万円
- 給付見込の増加によるもの
- 就農整備事業 140万円
- 補助金申請見込の増加によるもの
- 商工振興総務費 525万円
- 起業家支援事業の補正で法人、個人ともに申請見込の増加によるもの
- 町道大牟線改良事業 1650万円
- 大牟線の架替えに伴い拡幅などを行うもの
- 小学校管理運営費 1647万円

○中学校管理運営費

1040万円

トイレ洋式化設計業務委託料など

○プール施設維持管理費

43万円

隼プールの天井塗膜の剥離の補修

○八東運動公園

39万円

○船岡トレーニングセンター管理費

47万円

○大御門体育センター管理費

339万円

質疑

この補正予算の中に台風19号の見舞金があるが、激甚災害の指定になった。政府の施策に被せて市町村もするのか、その経緯を伺う。

答弁 吉田町長

本町では昨年7月豪雨災害があり、全国町村会から見舞いがあった。災害が起きればお互いが支援することは、国の施策とは関係がない。

国は補助金で、今回の提案は見舞金ということ考えてほしい。

和 解

長期にわたる町営住宅入居者の家賃滞納による、連帯保証人への未払賃料の支払い請求について、鳥取地方裁判所から和解の条項案が示された。これにより連帯保証人と和解案に同意しようとするもの。

和解内容は、連帯保証人2名について、それぞれ滞納金75万2900円の支払い義務を認めたもの。

令和元年

第10回臨時会

11月29日

条例改正

◇給与法改正に伴う人事院勧告による条例の一部改正

八頭町職員の給与に関する条例の一部改正。給与表の改定、改定率平均0.1%引上げ、若年層に重点を置いて改定した。

以下は、法改正に伴う条

例の一部改正が必要となったもの。

・八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

・八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

質疑

人事院勧告に従わないといけないのか。

答弁 吉田町長

人事院勧告を尊重したい。

令和元年度12月議会

総務教育常任委員会

行政調査研修視察の報告



1. 視察日程と視察先

8月29日

福島県南相馬市

8月30日

福島県新地町

2. 視察研修の目的

平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の災害であった。特に福島地方は地震と津波に加え、福島原子力発電所の水蒸気爆発により放射能汚染を伴う複合災害となった。

今回の行政調査は被災状況と復興の現状を視察したもの。

◎震災前の人口71,561人、令和元年6月の人口54,639人で、年少者や生産年齢人口(3割減)が還元していない。

◎市の全域が除染対象地域となり、平成29年11月までに市内全域の除染を終了した。

◎将来の津波に備え、高さ7.2mの防潮堤の整備、海岸沿いに200m幅の防潮林を整備する計画、用地は国が買収した。

◎復興関連事業について説明を受ける。

・被災地の圃場整備事業(海岸線)や園芸団地の造成。

・再生可能エネルギー基地の整備(海岸線の土地を買収、太陽光や風力発電を設置して市の電力を自然エネルギーで賄う)

3. 調査内容

【福島県南相馬市】

①市庁舎議会棟において被災の状況、当時の災害対応を聞き取り、被災現地で復興状況を確認する。

◎津波が高さ20m、海岸から2km地点まで到達した。関連死も含め1,151人が犠牲になった。

②復興関連事業について現地視察する。

◎南相馬市消防防災センター

③復興関連事業について現地視察する。

◎南相馬市消防防災センター

④復興関連事業について現地視察する。

- ◎工業団地の視察（福島県ポットテストフィールド）省人化や無人化を目指す計画で、先端技術の蓄積や新産業創出、人材誘導を行う。
- 【福島県新地町】人口約8,154人、JR新地駅と相馬港を抱える面積46.5kmの小さな町
- ①町庁舎議会議場において、被災の状況や環境未来都市としての取り組みを聞き、現地を視察する。
- ◎被災状況は南相馬市と似た状況だが、原発事故による制約が少ない分復興への着手が早かった。
- ◎復興計画について町だけではおぼつかないとの町長の言葉が印象的だった。
- ◎津波で流失した、JR常磐線新地駅の復旧と周辺地域の再開発を推進。
- ◎LNG基地である相馬港の立地を利用した、環境未来都市「新地町スマートコミュニティ事業」を事業化。
- ②「新地町スマートコミュニティ事業」や復興事業を現地視察した。



▲ 南相馬市庁舎

4. 視察研修の感想  
地震・津波・放射能の3重の災害を被った福島地方の被災状況を目の当たりにして、災害対応の重要性を感じた。

- ◎新地駅を中心に次のような施設を集積、新たな町づくりが計画されている。
- ・新地エネルギーセンター LNGを利用したコージ エネレーションシステム
- ・による駅周辺施設の冷暖房や近接の農業施設への排熱、CO2の利用。
- ・新地町文化交流センター（ホールやスタジオ）
- ・屋内フットサル場（フットサルやテニス）
- ・ホテルや温泉施設の建設
- ・複合商業施設
- ・農業生産施設や観光農園

13人が一般質問しました。 /

# ここが聞きたい

## 一般質問

テーマ	質問事項	質問者	頁
福祉・医療	障害者支援	中村	10
	医療費の節減につながる健康ポイントによる健康づくり	栄田	17
産業・観光	農業の振興策	小林	14
	あんぼ柿加工場	坂根	
公共施設	役場庁舎及び中央公民館のバリアフリー化	岡嶋	8
	旧中私都小学校跡地芝生化工事	岡嶋	8
	若桜線の運行	高橋	15
	公共施設の冬期間の利用	栄田	17

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	本町における地域と学校の連携・協働の推進	奥田	6
	男女共同参画推進	奥田	6
	第2次八頭町総合計画後期基本計画の策定	尾島	7
	第2期八頭町総合戦略の策定	尾島	7
	町民スポーツのあり方	岡嶋	8
	町行政全般の執行状況	小原	9
	交通施策	森	11
	会計年度任用職員	森	11
	成年被後見人及び成年被保佐人に対する欠格条項の見直し	川西	12
	民法改正に伴う公営住宅入居時における連帯保証人	川西	12
	地方創生と第2次総合戦略	小倉	13
	人権問題学習会開催の意義	小倉	13
	矢部家文化財	坂根	
	どうつくる21世紀の八頭町「スポーツによるまちづくりを」	下田	16
	スポーツ推進委員会の活動の現状と今後の方針	下田	16
	八頭町総合計画に掲げているまちづくり	栄田	17

\*質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため掲載していません。



奥田 のぶよ 議員

地域と学校

# 学校との連携、協働の推進は

## 教育長/ 中高連携について協議する機会を設けている

**質問** 本町と小学校、中学校、高校、大学との連携、協働の推進は。また課題は。鳥大生の意見などはどう取り扱い、反映していくのか。

**答弁** 吉田町長

第1期の総合戦略策定の過程で八頭高校生、環境大生から、働く場の確保、若者の参加できるイベントの開催、町を広くPRして欲しいなどの意見があつた。できるものから施策として取り入れている。

鳥大生の意見は役場各課に情報提供し可能な限り施策に取り入れている。

**答弁** 藪田教育長

現在、郡家東・西小学校、八頭高校の児童、生徒の交流は継続している。

八頭中学校と八頭高校は数学、英語授業を公開し合い授業力向上など中高連携の協議する機会を設けているが、新学習要領の実施に伴い同じように実施できるか危惧している。

**質問** 郡家駅前図書室の設置を考えないか。

**答弁** 吉田町長

学校と話してみる必要があると思う。

**質問**

高校生の寮の整備は。

**答弁** 藪田教育長

対策するなら今だと思う。



▲ 第15回男女共同参画フェスティバル(2019.11.4)

### 男女共同参画

男女共同参画センターのあり方は町長/ 引き続き男女共同参画推進の拠点施設だ

**質問** 男女共同参画推進の本町の方針、男女共同参画センターのあり方は。

**答弁** 吉田町長

来年度は第3次プランの課題を総括し第4次のプランを策定する年だ。総合的かつ計画的に施策を展開できるように考えたい。センターは引き続き男女共同参画の拠点施設として考え、新たに共催により多くの皆様が参加しやすいイベントなどの開催も検討したい。

**質問**

役場内部で男女共同参画推進本部の組織があり、その啓発の一環としてフェスティバルへの出席を

促すことはできないか。

**答弁** 吉田町長

全職員に周知している。

**質問**

審議会女性委員選出を一緒に考えて欲しいが。

**答弁** 吉田町長

一緒に考えたい。

**質問**

男女共同参画の機運を盛り上げるために、3月にある女性の健康週間の取組を保健課と共催で考えてみてはどうか。

**答弁** 吉田町長

令和2年3月の週間の中で取組ができればと考える。



尾島 勲 議員

## 第2次 総合計画

# 後期基本計画は

## 町長/ 意見などを含め検討している

【質問】

後期基本計画について何う。  
①新たに取り入れる取り組は。  
②SDGs(持続可能な開発目標)を取り入れ、どの様に実行するのか。

【答弁】

吉田町長  
①町民アンケート調査の結果、各種団体の意見、若手職員の提言、そして、町民検討委員会の意見などを含め検討している。  
②基本計画の施策が、SDGsのどの目標を目指しているか、計画の中で解り易く分類標記したい。

【質問】

SDGsの3つの視点、経済・社会・環境と連動させる計画になると思うが。

【答弁】

吉田町長  
計画の中で分類標記すると言った。

## 第2期 総合戦略

# どの様な戦略とするのか 町長/ソサエティ5.0は 地方創生に不可欠だ

【質問】

現在の取り組み状況、進捗状況などを含め、どのような戦略とするのか。

【答弁】

吉田町長  
①高校や大学の部活やサークルの合宿などの積極的な誘致や、鉄道や農業体験など、関係人口の増加に繋げたい。

【質問】

②ソサエティ5.0は今後の地方創生に不可欠だ。自動運転を活用した地域交通の多様化や、ロボットトラクターなどによる農業の自動化、効率化などに取組む法人の支援をしたい。

【答弁】

吉田町長  
③SDGsの17のゴールのうち、本町で対応できる分野を取り入れたい。  
④高校や大学などと連携を深め、ふるさと教育などの



▲ 総合計画・総合戦略の発信基地  
(八頭町役場)

地域課題解決を通じた地域探究、地域留学などを推進し、人材育成を推進する必要がある。

⑤さまざまなデータを集め見える化をはかり、Maas(マース)などの新しいモビリティサービスモデル構築や社会実験の推進を図っていく必要がある。

具体的には、地域交通ネットワーク維持のため、バス・鉄道などの連携、協働の仕組みづくりを考えている。

【答弁】

薮田教育長  
①文部科学省が急速に教育のICT化を進める動きがある。その動きを見ながら、機器整備などのハード整備を検討していく。  
②ソサエティ5.0の実現に向け、プログラミング教育を実施することは、国・世界の潮流を見据えた人材育成の上で、必要なスキル獲得に繋がる。  
③教育に、SDGsの視点を取り入れることは重要だ。



岡嶋 正広 議員

バリアフリー化

# 役場庁舎のエレベーターの必要性は

## 町長/ 現状での設置は難しい



▲ 1階から3階へ移動手段は徒歩のみ(船岡庁舎)

質問 昨今公共施設のバリアフリー化とよく言われる。高齢者や障がい者が生活していく上で障害になっていく物を取り除き、健常者と同じように行動できる体制を整えるということと理解する。

質問 役場本庁舎及び船岡庁舎のエレベーター設置についての考えは。

回答 吉田町長

現時点においては、防災本部拠点施設やエレベーター、有利な財源等も含め庁舎はどうあるべきかを全体的に検討した上で、今の3庁舎をどうしていくべきか改めて考えたい。

現状でのエレベーター設置は難しいと考える。

質問

中央公民館について  
①交通手段を持たない方への対応として、町営バスの乗り入れについての考えは。  
②幹線道路からの距離、駐車場からの階段等立地的な問題についての解決策は見つからない。近い将来移転は考えられないか。

回答 吉田町長

①現状では毎日多くの高齢者が、利用されている状況ではない。町営バスの乗り入れは難しい。  
②多くの方が来館しやすい施設として今後、場所や施設のあり方などを考えていく必要がある。

## 町民スポーツ

### 気軽に参加できるものを取り入れてみては

### 教育長/今後検討したい

質問

町体育協会主催の町民大会について2点質問する。  
①種目は多数だが参加団体が少ないと思うが。  
②町民スポーツの日では、気軽に参加できるストレッチ体操とか、体力測定的なものを取り入れてみてはと思うが。

回答 藪田教育長

①理由として集落で人員をそろえるのが困難になってきたことが考えられる。多くの皆さんに参加していただけるよう検討を進めたい。  
②多くの人にスポーツに親しんでいただけるよう、内容を考え開催している。ストレッチ体操、体力測定については今後種目を選考する際に検討したい。

質問

森下広一杯マラソン大会で八頭町の名を広めていただくことは考えられないか。例えばフルーツの紹介・販売、宿泊施設への誘い、各集落の出店、若桜鉄道の無料乗車券、ガソリン券、商品券等町が支援し、たくさんの方に来ていただき町内滞在時間を増やしていただくことは考えられないか。

回答 吉田町長

商品券やクーポン券については大会実行委員会で検討を行なっていただく。出店バザーについては、従来の出店状況と会場規模、参加者のニーズ把握が必要。

※その他の質問  
旧中私都小学校跡地芝生化工事について



小原 徹也 議員

予  
算

# 執行状況について

## 町長/適切に執行

**質問**

①災害復旧工事の基本的考え方は壊れたものを元に戻す。残土の状態が悪く、代替え品として真砂土・碎石を使用し、増額費を請負業者は発注者に対し請求できないと考えるが。

②入札で落札率が98%以上だ。同じ資料で積算設計している、近隣自治体は92%、95%の落札率だ。競争原理だけでなく未着手な災害復旧工事に影響するのではと考えるが。

**答弁**

吉田町長

①基本的には、在来の土を使うのが原則。  
②同じ条件の中での積算というふう考えている。

**質問**

①質問の趣旨は、一連の対応に問題があるかと考えるのだ。猟銃使用には関係法令、法的規則がある中で住宅地での実弾使用してはならない。正しい判断か。

②法律で許可を受け麻酔銃は認められている。対応マニュアルを決めておく必要

があると思うが。

**答弁**

吉田町長

①警察官の同意の中でやむを得ない殺処分だった。  
②この処置で正しかったと思っている。

**質問**

①横城郡と国際交流の中で、交流相手は鳥取県で例えると国は韓国。県は江原道、八頭町は横城郡と考える。しかし韓国主要8市と9道で日本製品不買条例を議決。この状況に対し横城郡と、どのような話をしたのか伺う。

②今、日本は安倍首相を中心に外交をしている中で、本町が何をすべきか考えを聞く。

③町長は、国際交流する上で自国の立場は示されるべきだと思うが。

④韓国では、小学校教育の中で反日指導教育を行なっていると聞くが、町長は先の大戦を侵略行為と認めているか。

⑤横城郡との交流は子ども達が行き来する交流か。

⑥韓牛祭りに町長と議長が、訪韓され政治的意味は大きい。今後の交流は。

**答弁**

吉田町長

①そのような話はしていない。

②国は国、県は県、町は町だ。

③八頭町は国ではない。

④国際交流と侵略とは関係ないと思っている。

⑤今は子ども交流が主になっている。文化や福祉もある。

⑥産業・福祉の交流。当面は子ども交流の話だ。



▲ 完成した災害復旧工事現場



中村 美鈴 議員

障がい者支援

災害時の避難は

町長/ 優先した避難に取り組んでいる

【質問】

鳥取県では、あいサポート条例として共生社会を目指し、障がいのない人と等しく安心社会の実現に取り組むとしている。

- ① 本町の現状は。
- ② 就労支援は。
- ③ 受け入れ先や預り先は。
- ④ 町内の移動支援は。
- ⑤ 災害時の支援と課題は。

【答弁】 吉田町長

①平成31年4月1日現在の障害者手帳所持者は、身体障がい者804人（18歳以下18人）、精神障がい者210人（18歳以下5人）、知的障がい者171人（18歳以下23人）。

- ②計画相談事業所5か所、B型作業所5か所で知識や能力向上の為に訓練だ。
- ③生活介護事業所3か所、障がい児への放課後等デイサービス事業3か所だ。
- ④移動サービス事業所1か所。高齢者と同様に運転免許証未保持者に年100枚のタクシー利用券の助成がある。
- ⑤要支援者登録システムの

登録をしているが、未登録の方もいる。登録者471人中、障がいある方は130人。災害発生時は各集落の自主防災組織にお願いしている。区長や、民生委員に支援台帳を提供し、災害に備えている。

支え愛マップを作成している集落は27集落だが、課題はまだ取り組んでいる集落が少ない事と、マップの更新をしているかだ。

【質問】

1人暮らし60歳前後の視覚障がい者の人の声だ。家から最寄りの駅までの間、国道と県道があり、点字ブロックの要望を、県に働きかけてとの事だ。

本町の場合、それぞれの駅・役所や公共施設等付近の点検はしているのか。視覚障がい者の意見を聞いて、取り組む必要があるか。

【答弁】 吉田町長

定期的な点検はしているが、障がい者の方と同行しての点検はしていない。

【質問】

やはり、現場に出向き行政と利用者が見られて、そういういった取り組みをすべきだが。

【答弁】 吉田町長

道路管理者との話し合いをしたい。

【質問】

これも町民からの声だ。重度の身体障がい者で30代の子どもを持つている母の声だ。今年5月の10連休で、祝日が多く、どこの施設も休みだった。いつもの病院も2か月前の予約が必要と断られた。介護施設はその点は充実している様で、障がい者への支援を望むが。

【答弁】 吉田町長

行政では判断できず、事業所に協議はしてみた。

【質問】

移動支援で町内でのタクシー助成100枚分の支給はわかるが、月一回町外病院へ出る時、タクシー代が往復1万円以上かかるが、その事への対応は。

【答弁】 吉田町長

運転手不足だが、総合的配慮で検討したい。



▲ サポートセンターわくわく(新興寺)  
《児童発達支援・放課後デイサービス、生活保護》



森 亜紀子 議員

# 公共交通

## 町民が利用できる仕組みは

### 町長/町民、行政と一緒に検討を進めたい

質問

6月定例会で質問した交通対策のその後は。

また平成29年3月策定された「鳥取県東部広域公共交通網計画」の効果は。

- ① 八東保育所バス乗り場は。
- ② 八東小学校のスクールバス乗り場は。
- ③ 交通網計画の進捗状況は。
- ④ その他交通手段の状況は。
- ⑤ 計画における若桜鉄道は。

答弁 吉田町長

① 現在も国土交通省鳥取河川国道事務所と協議中。早期の改良に向けて引き続き進めたい。

- ③ 本町に関する部分では、幹線の向上として若桜鉄道の増発。ダイヤ改正で利便性の向上を図りたい。また地域特性に応じた交通手段の確保のため、自動運転バスの走行実験も取組んだ。
- ④ 3日間乗り放題手形（因幡バス手形）の発行など。
- ⑤ 観光列車「八頭号」

の運行開始で団体貸切による観光客増加を図る。

答弁 藪田教育長

② 地域やPTAからも改善の要望がある。現在待機場所を広げた。県とも相談し道路との境目にはラバーポールなどの設置を検討。

質問

町民が公共交通を利用できる仕組みづくりは。

答弁 吉田町長

町民、行政と一緒に検討を進めたい。



▲ 安全な登校へ（八東小学校スクールバス乗り場）

## 年度職員任用

### 気持ちよく働ける環境か

### 町長/町民/対応や環境整備をしたい

質問

9月の定例会で可決された会計年度任用職員制度の勤務と処遇の改善を問う。

② 該当職員への説明は。

答弁 吉田町長

① 本制度は地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う新制度。これにより休暇等の勤務条件の改善や期末手当が支給されるなどの非常勤職員の処遇は改善。一方、期末手当の支給で新たな財源を伴うので慎重に分析や検討を行っている。

② 在職者の方へは、任用方法、勤務時間、報酬などの状況が個別に、また部署によって異なる。順次所属長が説明していると思う。

国からの通知や県下の動

向を注視して検討を進めたい。

質問

この財源は交付税か。

答弁 吉田町長

不確定。たぶん交付税等の対応とはならないと思う。

質問

かなりの財政負担だが。

答弁 吉田町長

一般財源で7千万〜8千万円くらい要するという見込み。

質問

気持ち良く働ける環境か。

答弁 吉田町長

対応と環境整備をしたい。



川西 聡 議員

成年後見制度

成年被後見人の欠格条項の見直しを

町長/ 条例などを精査、3月定例会には上程したい

質問

認知症や知的障がい者で判断能力が不十分な人を支える成年後見制度を巡り、内閣府は全都道府県に、成年被後見及び被保佐人が公務員などの資格を失う欠格条項が自治体の条例や規則にある場合には削除するよう求めている。

目的は、各種法律（188本）の欠格条項をなくす一括法の成立を受けて差別解消を促すことにある。本町は、県の通知を受けて条例や規則にある欠格条項を精査し見直しをして削除するべきではないか。

答弁 吉田町長

現在、条例に関するもので「職員との給与」、「制限」、「消防団の服務」などの洗い出し作業を行っており、3月定例会には精査したものを上程したい。

質問

本町も入っている「令和元年度鳥取県町村職員採用試験の広告」には、試験を受けられない人の項目に、成年被後見人・被保佐人（準禁治産者を含む）との規定があった。所見を問う。

答弁 吉田町長

県の町村会にも話すが、本町は準禁治産者という差別用語についても次年度の採用試験から削除したい。



▲ 町営住宅(丸山団地)

質問

連帯保証人

町営住宅入居時の要件を廃止しては

町長/現行制度は維持する

質問

一昨年の民法改正により、個人根保証契約に極度額の設定が必要になった。連帯保証人に極度額が設定されることで町営住宅入居時に必要な連帯保証人を確保することが難しくなっている。連帯保証人の責務を問う。

質問

国土交通省住宅総合整備課発出の『公営住宅標準条例(案)』では、「極度額の設定が必要になったことから近年、身寄りのない単身高齢者などが増加していることなどを踏まえると、今後、保証人を確保することが懸念される。入居出来ない事態が生じないよう保証人の確保の入居前提から転換するべきだ」とあるが。

答弁 吉田町長

入居者への催告状に付随する形で家賃の納入への保証や協力、納付が滞る際の債務履行要請などの支援の役割を行っている。

質問

町営住宅を必要とする生活弱者に住宅が提供可能になるよう、連帯保証人の要件を廃止してはどうか。

答弁 吉田町長

国交省の意見ではあるが、最終的な末端の現場は「滞納」の課題があり連帯保証人はなくせない。

答弁 吉田町長

現行制度は維持する。保



小倉 一博 議員

地方創生

第2次総合戦略は

町長/ 5つの基本方針に沿って  
取り組む



▲ 開業した大江バレーステイ

質問

地方創生の第1次計画期間が終了する。

- ① 主要事業の目的達成について、総括されるのか。
- ② 第2次計画に向けて発展的に取り組む事業は。
- ③ 第2次総合戦略の主要施策について問う。

答弁 吉田町長

① 第1次総合戦略の56事業の内KPI(目標数値)達成が7割を超え、順調に事業展開ができた。

隼ラボは16の事業所が入居して年間利用者が4万2千人、県外からの視察も50

件を超えて注目の施設となった。

若桜鉄道は「昭和」に続き「八頭号」、3月からは「若桜号」がデビューし、観光振興につながる。

子どもたちの環境整備のため、普通教室のエアコン設置やプログラミング教育の拡充を図った。

② 第2次総合戦略では5つの基本方針で取り組む。若者の活躍、産業や雇用の関係。結婚支援や子育て支援。健康や福祉の関係。人づくりや全世代の活躍。観光や交流の関係。

③ 現在検討中であるが、若

者が活躍できる環境づくりや、農工商の後継者の育成、健康寿命の向上、芸術文化の拠点づくり、インバウンド対策等に取り組みたい。

質問

① 隼ラボは起業とか、自分たちでやろうという雰囲気

で次につなげてもらいたいが。

② 若桜鉄道の八東駅改修後の運営計画は。

③ 大江バレーステイが開業し、念願の宿泊施設ができた。これを利用した取り組みは。

答弁 吉田町長

① 地元の人たちの取り組み、起業セミナー等も行われて

おり、チャレンジしてもらいたい。空き家や公共施設を利用した広がりも可能ではないか。

② 若桜鉄道は3月から10往復から15往復に増便の予定だ。車両の改修が終わるので観光列車としての利用方法も考えたい。

③ 大江バレーステイは学生の合宿等が可能になる。隼のプールも含め検討する。

人権問題  
学習会

体制づくりは

町長/ 各地区人推に合わせて

質問

人権問題に関して学習会が町内全集落で開催されることは特筆すべきだ。人権擁護委員や民生委員、公民館役員等地域が一致協力して人権問題学習会に取り組める体制を作ってもらいたいが。

答弁 吉田町長

人権問題学習会については各地区人推を中心に、事前学習や役割分担、推進体制について検討されている。

社会教育部会や役員会で意見を吸い上げながら、各地区人推に合わせた体制作りに努める。



小林 久幸 議員

## 果樹農家の法人化を

### 町長/ 大きな課題だ 県とも検討する

#### 農業振興

**質問** 今、中山間地では過疎化が進み、家族農業は高齢化に直面している。

**答弁** 本町では、平成28年度に農業ビジョンを策定し、持続可能な力強い農業を実現するために、農業経営の安定を図るために魅力ある農業、儲かる農業となるように水田及び果樹の振興の取り組みを行ってきた。神兔・星空舞のブランド化、梨のジョイント栽培などに取り組んでいるが、農家からは所得が上がったという声は聞こえない。農業の成果と振興策について伺う。

**答弁** 吉田町長  
水稲の作付面積は、JA出荷によるものが、562.81ha。販売金額は約2億8640万円だ。  
特別栽培米「神兔」はイベントや百貨店での宣伝活動により、ブランド米としての知名度向上と有利販売に努めている。  
鳥取県の特産米「星空舞」の拡大にも力を入れていく。

**質問** 本町では「神兔」のブランド名で取り組んでいるが、販売状況は。

**答弁** 吉田町長  
主な販売先は関西圏の飲食店、ホテルの外食産業を中心に販売。30年度産米は、全量完売した。

**質問** 新たな販売戦略と新たな支援が必要ではないか。

**答弁** 吉田町長  
本町のブランド米「神兔」、そのPRということになれば一緒に取組む。

**質問** 本町では「きぬむすめ」「コシヒカリ」のブランド化と、県は「星空舞」のブランド化、町と県で2つのブランド化が行われているが、今後どのように推進されるのか。

**答弁** 吉田町長  
神兔は神兔、星空舞は星空舞ということで、併用する

る形で水稲の作付に取組む。

**質問** 梨・西条柿の木が、どれくらい伐採されたのか。

**答弁** 吉田町長  
梨は、5年前より9haの減。西条柿は、5年前より12.9ha減。

**質問** 柿栽培の現場では高齢化で作業が出来ない。

**答弁** 吉田町長  
家族に後を継ぐ者がいない。子どもに廃園を残したくないので自分が元気な内に伐採しておくことが喫緊の課題と思うが。

**答弁** 吉田町長  
今現在、県からの助成で、中間管理の取り組みをしている。

**質問** 本町の20年先を見据えた新たな発想と仕組みで、果樹部門の法人化を検討することも必要と思うが。

**答弁** 吉田町長  
大きな課題だと思う。今後、県なども交えて検討したい。



▲ 伐採された果樹園



高橋 信一郎 議員

若桜鉄道

35万人の乗客数は実際と違うのでは

町長/ 数字のトリックの面もあるが問題はない

質問

平成30年度の決算書では乗客35万人。これを1車両当たり換算すると約48人。計算上は年柄年中朝から晩まで満席となる。ところが、実際は沿線の私が見ても空席だらけ。これはどのように弾き出した数字か。発表は個々のお客の数ではなく、1人の乗車予定回数ではないのか。

答弁

吉田町長

一か月定期を購入されると一往復2回、60人の利用として換算される。35万人を1年で割って車両と運行回数を考えると48人となる。そういう面では数字のトリックかも分からないが数字的には問題ない。

質問

今年2万人増やして37万人を目指すことになっている。これは、実は1区間でもいいから27人ほど確保すれば達成される計算だ。ところが、来年から八頭高は1クラス減る。この対策はどうされるのか。

答弁

吉田町長

以前のように八頭高の生徒全てが八頭郡じゃない。7割以上が市内からなので1クラス減っても大きな影響はないと考えている。

質問

昭和55年に国鉄再建法が施行されて以来、全国で83路線が廃止対象となったが、その目安が損益分岐点となる輸送密度4000人だった。昨年廃線となった島根県の三江線は163人だった。

私の計算では、若桜線(郡家(若桜間)の輸送密度は50人となる。公共の使命というの理解出来るが限度というものがある。今年も本町だけで1億5千万円投入。もう少し経済観念を強く持つて取り組んで欲しいと思うがどうか。

答弁

吉田町長

公共交通の灯りを消してはならないという、使命を大事にして行くのも行政を預かる者の仕事だ。

質問

農家だつて所得確保のために生産費を切り詰めている。若桜線にはその姿勢が見られない。通勤・通学が7割なら朝晩の運行にシフトすべきと思うがどうか。

答弁

吉田町長

残りの3割は違う。昼間に病院などに通つておられる方もある。

質問

八東駅のすれ違い施設が完成し5往復増やすと人件費が増える。軌道の劣化速度も早まる。築90年の鉄橋(橋脚)のこともある。経常経費(固定費)増加の対策は。

答弁

吉田町長

固定費はアップしない形で取り組んで行く必要がある。若桜線のことでは基金貯金を取り崩す気持ちはない。



▲ 平日昼間の車内風景



下田 敏夫 議員

## スポーツによるまちづくりを

### 町長/ キャンプ地の誘致はあきらめていない

21世紀の  
八頭町  
どうつくる

#### 質問

人口減少が顕著な本町において、人口の維持、交流人口、観光人口の増加策等は喫緊の課題だ。

本町保有の体育施設数、野球場、体育館等は県下でも有数だ。また今年、本町待望の宿泊施設も完成した。これらをどう活用するかが町の活性化につながる。

町内の体育施設、宿泊施設を組み合わせてのスポーツイベントの開催、合宿等の誘致が考えられる。

それを企画、実践、運営するスポーツコミッションを設立し、県との連携によるスポーツコンベンション等を推進することが将来の町の元気のもとになると考えるが。

#### 答弁 吉田町長

スポーツを通じた関係人口の増加策は町としても一つの選択肢だ。

全国各地でスポーツイベントの開催、誘致のために県や、広域連携、NPO、施設関係者でスポーツコ

ミッションを設立し、地域活性化を図っている事例は承知している。

町として町内施設と連携した高校や大学のスポーツ文化サークル等の合宿誘致への助成制度を検討し、今後本町で合宿ができる取り組みが展開できればと考えている。

スポーツコンベンション等を推進する上で県との連携は非常に大事だ。

総合計画にもキャンプ地誘致は計画している。男子、女子のホッケーがあるが、今の状況は厳しい。キャンプ地の誘致も決してあきらめていない。

2033年の国体も14年先だが注視しながら取り組みを進める。

#### ※その他の質問

スポーツ推進委員会の活動の現状と今後の方針を問う



▲ 祝全国大会優勝！！八頭高校女子ホッケー部



柴田 秀之 議員

八頭町は  
輝いているのか

## 総合計画の課題を問う

### 町長/概ね順調に推移



▲ 築44年老朽化した中央公民館

質問

総合計画を実現するため七つの基本目標を設定、その中に住民が主役のまちづくり。町民との交流の場をふやし町民の声をいかに反映させていくことができているかが課題とある。

①総合計画5年目を迎えるこの課題の取り組みは。

②健康増進と医療費の抑制の取り組みは。

③中央公民館は築44年で老朽化している。人が集う場その中心の中央公民館の改修を速めてはどうか、施設

が古く高齢化社会を迎えて不便な点が多い、若者も子どもも高齢者の方も誰でもが楽しく集える場の提供は必要だ。この現状を伺う。

答弁

吉田町長

①計画239事業の98%の事業に取り組むことができ、順調に推移している。

②八東保健センタープールの利用は年々増加傾向にあり医療費軽減につながっていると感じている。

③中央公民館は老朽化している現状だ。多くの方が来館し利用しやすい施設、図書館を併設した複合社会施設のありかたや改修について検討が必要だ。

質問

築44年の中央公民館のトイレは男女の入り口が同じで利用に不便だ、早く改修してもらいたい。

答弁

藪田教育長

別々の入り口が望ましい、そこだけ改修か、全体の改修か、方向の検討が必要。

## 健康づくりで 医療費節減

### 健康ポイント制度の活用 町長/町独自の制度を

質問

医療費節約につながる健康ポイントによる健康づくり。健康ポイント制度は厚労省が普及を勧めている制度で、健康づくりに取り組みする人がさまざまな特典をもらえる制度。

①医療費削減の取り組みとなる健康ポイント制度の活用は。

②以前に健康ポイントについて質問した、検討するということであったがどうか。

③地方創生町民検討委員会での、ポイント制度の提案についての取り扱い。

質問

厚労省の推進している健康寿命を延ばす施策としての健康ポイント制度の活用について。

答弁

吉田町長

町独自の継続できることを考えている。

※その他の質問

公共施設の冬期間の利用について

①健康マイレージ事業を30年度から実施し、一人一人の健康意識を高め、健康づくりを目的としている。

②県のマイレージ事業に町



## 八頭町議会報告会

第2回

# Talk&cafe

(トーク&カフェ)

# 開催しました



令和元年11月3日(日)八頭町議会報告会 talk&cafe (トーク&カフェ) を開催しました。  
 参加者は議員を合わせて 33 人で第1部は本会議場で常任委員会の活動報告を行い、研修室へ移動して第2部は5グループに分かれて、トーク&カフェを行いました。  
 トーク&カフェでは各グループで活発な意見交換を行い、最後グループごとに発表をしました。  
 今後、提案された意見などをまとめて報告し、町政へと反映させるように努めてまいります。

第1部

### 常任委員会報告

13:30~13:55

本会議の議場を開放した報告会としました。谷本正敏議長のあいさつに始まり、小倉一博総務教育常任委員長が令和元年度の視察研修報告を、川西聡産業福祉常任委員長が令和元年の町内視察研修報告を行いました。



▲ 総務教育常任委員会報告



▲ 産業福祉常任委員会報告



## 第2部

# トーク&カフェ

14:05~15:25

## テーマ

- ①夢のある町にするために私たちができること
- ②わが町の文化・教育を未来にどうつなげるか
- ③若者の住みたい町と高齢者にやさしい町づくりは
- ④農業（鳥獣被害対策も含む）のこれからの町づくりは

### 子どもたちに八頭町を好きになってもらうには

- 交通網の体制の充実を
- 若者定住を推進する格安町営住宅建設はどうか
- 大人食堂、高齢者防災対策など  
高齢者に優しいまちづくりを
- 雇用の安定、仕事があるまちづくりを



### コミュニティの復活、公民館を核とした 地域づくり、人づくり

- 世代間交流を
- 若者が結婚できる仕組みを
- 子どもの遊び場をたくさん作っては

### 農業を基幹産業として発展させる

- 所得を上げる仕組みづくりを
- 集落営農の組織を増やす努力を
- 農業問題解決のシステム構築を



### 若者の住みやすいまちづくり

- 農業者を増やす施設、人材育成を
- 交通問題、免許返納者への対応を

### 参加した 皆さんから

- ・ 世代が違う人といろいろな話ができよかった。若者、高齢者と話す機会は必要だと思った。
- ・ 気軽に参加できました。もう少しお話がしたかったです。

今回で2回目となりました。今後ご意見を頂きながらよりよい報告会にしていくように努力してまいります。参加してくださいました皆さんありがとうございました。



# 高校生議会

## 開催しました

令和元年11月21日(木)高校生議会を開催しました。

当日は2部構成で1部は八頭高校2年生の探究文科クラス40人が10班に分かれて八頭町行政に関する質疑応答を行い、2部では5人のグループが「地域課題解決のためのプラン」をプレゼンテーションする内容でした。

議長も高校生が勤め、質問者は8分間の時間設定で追及質問も行いました。実際の議会を体験できるように実施しました。2部では発表された内容についての質疑も行われ、今後のプランの活用が期待できます。



### 10班の 質問内容

- ① 高校生の利用施設の増設は
- ② 神社や寺など文化施設の活用は
- ③ 特産品メニューを活かした活性化は
- ④ 町内産物を使ったレストラン、カフェをつくっては
- ⑤ 若桜鉄道の外国人、障がい者への対応は
- ⑥ イベントの成果は、興味を持ってもらう工夫は
- ⑦ 観光の盛り上げの取組は
- ⑧ バス、列車の増便などの工夫は、外国人旅行者の対策は
- ⑨ ハザードマップ、避難所の住民周知は
- ⑩ 「いじめ」などの問題について

## 私たちの方で八頭改革!

～地域課題解決のためのビジネスプラン～

まちづくり  
総合プロデュース  
ビジネスプラン

- プラン① 新特産品開発
- プラン② 農業体験ツーリズム  
自然体験ツーリズム
- プラン③ まちゼミ
- プラン④ 誰もが集える拠点づくり



# 議案等議決結果

(第10回臨時会・第11回定例会)

## ○全会一致で可決・採択したもの

議案等番号	件名	議案等番号	件名
<b>第11回定例会</b>			
117	町道ホウキ線道路災害復旧工事(30年災第331号)請負変更契約の締結	125	八頭町合併処理浄化槽施設条例の一部改正
118	財産の貸付(旧安部小学校)	126	令和元年度八頭町一般会計補正予算(第7号)
121	八頭町簡易水道事業給水条例の一部改正	127	令和元年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第3号)
122	八頭町公共下水道条例の一部改正	128	令和元年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第3号)
123	八頭町農業集落排水施設条例の一部改正	129	訴訟上の和解
124	八頭町小規模集合排水処理施設条例の一部改正		

## ○賛否の分かれたもの

議案等番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	栄田 秀之	
<b>第10回臨時会</b>															
108	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
109	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
110	八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
111	令和元年度八頭町一般会計補正予算(第6号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
112	令和元年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
113	令和元年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
114	令和元年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
115	令和元年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
116	令和元年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	可決
<b>第11回定例会</b>															
119	八頭町営住宅条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
120	八頭町国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※賛成「○」、反対「×」 ※議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

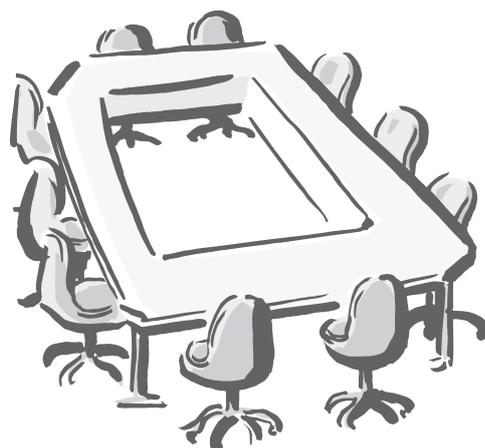
# 平成31年、令和元年(1月～12月) 定例会等の出欠日数一覧

## 【定例会・臨時会】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	栄田 秀之	谷本 正敏
第1回臨時会(2/12)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第2回定例会(3/5～22) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第3回臨時会(4/26)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第4回臨時会(5/8)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第5回臨時会(5/31)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第6回定例会(6/6～19) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第7回臨時会(7/24)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第8回臨時会(8/27)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第9回定例会(9/5～24) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第10回臨時会(11/29)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第11回定例会(12/15～18) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														

## 【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
委員会名		奥田のぶよ	川西聡	小倉一博	小林久幸	森亜紀子	中村美鈴	岡嶋正広	坂根實豊	小原徹也	尾島勲	高橋信一郎	下田敏夫	栄田秀之	谷本正敏
議会運営委員会	平成31年4月末まで(8回)	出欠	8		8		8		8				8	8	
	令和元年5月から(15回)	出欠	15	15	15			15	15		15				
総務教育常任委員会	平成31年4月末まで(4回)	出欠	4	4				4		4		3		4	4
	令和元年5月から(8回)	出欠	8		8	8		8		6	8			8	
産業福祉常任委員会	平成31年4月末まで(4回)	出欠			4	4	4	4		3			4	4	
	令和元年5月から(12回)	出欠		12			11		12		12	10	10		12
議会広報常任委員会	平成31年4月末まで(4回)	出欠	4	4		4	4	4		4				4	
	令和元年5月から(9回)	出欠	9			9	9	9				9	9	8	
議会改革推進調査特別委員会(10回)		出欠	10	10	10	9	10	9	10	7	10	10	10	9	10
予算・決算に関する調査特別委員会(16回)		出欠	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16
地方創生事業検証調査特別委員会(1回)		出欠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



# やず・ドリームトーク

## 心の過疎化を防ぎたい 〜地元愛を仲間とともに〜



安部小プロジェクト 内田 奏杜さん

### 安部小プロジェクトとは

安部小学校を卒業した中高生が、やりたいことを母校で挑戦して地元愛を育み、それを地域の方々と共有することで、間接的に地域に貢献することを目的として活動しています。

### 主な活動や取り組み

学校を月に1度掃除をすることや、年に1度の夏祭りなど、やりたいことを具現化しています。

### 夏祭りのあとはSDGs

(持続可能な開発目標)を取り入れて、未来について話し合う場を設けています。

### 立ち上げたきっかけ

統合されて閉校となった安部小学校で弟が遊んでいた時、草が多いことに気がつきました。そして友だちと草取りをしたことをきっかけに、「校舎の掃除をしたい」と役場に連絡をして掃除を始めました。友達にチラシを配って「やりたいことを学び合でやってのける」というテーマでメンバーを募集。こうして幼馴染の感覚と「ゾリ」ですぐにメンバーが集まりました。



### 心に残っている活動

初めて開催の夏祭りでは、「安部」にこだわり、集落の方々にも屋台や伝統芸能で参加していただきました。

2回目の夏祭りは、ジュニアリーダーを含め37人が集まりました。後輩が率先して「やりたい!」と言って、祭りの軸になってくれたの開催。そして保育所の子どもたちにもお祭りを楽しんでもらおうと、遊ぶコーナーを仲間と手作りしました。計画から準備をみんなで楽しむことができました。

### 後輩への思い

このプロジェクトは夏祭りだけでなく、自分たちがやりたいことを仲間と一緒にやっていく場(遊び場)として、続いて欲しいと思います。

自分自身もこの活動を通して、いろんな中高生と出会い、活動を共有することで、他の活動が励みとなり、学びにもなりました。そして視野が広がったと思います。人とのコミュニケーションで「地元愛」は育まれます。鳥取には何も無いといった「心の過疎化」を防ぐのは「地元愛」です。これからも地元愛を育み、仲間とともに「やりたいこと」をしてほしいと願っています。



▲ 第1回夏まつりメンバーと

定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

## 議会の傍聴をしてみませんか

一般質問は再放送しています



TEL.0858-72-3975 FAX.0858-72-2641 (議会事務局) 八頭町議会 検索

### 編集後記

議会広報誌の役割は何かと考えた時、町民が選んだ町長の政策に対し、同じく町民から選ばれた一方の議会はどうか、動いているのか。そこから辺りが町民の一番知りたい情報なのではないかと承知しております。ところが、ややもすれば町広報誌の二番煎じにもなりがちです。これは避けたいものです。

また、若者の読解力欠如が指摘される昨今です。読み易く分かり易くに固執するあまり、直接的な用語や平仮名・写真の多用による表現力の欠如を自ら招いているようでは遺憾に思います。

議員の説明・表現能力は最低限の必要条件と考えます。などと肝に銘じながら、今後とも広報誌作成に取り組みたいと思います。

(記：高橋信一郎)

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 奥田のぶよ |
| 副委員長 | 小林 久幸 |
| 委員   | 森 亜紀子 |
| 委員   | 中村 美鈴 |
| 委員   | 高橋信一郎 |
| 委員   | 下田 敏夫 |
| 委員   | 栄田 秀之 |



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています

